政治経済学研究科　政治経済学研究科 政治経済学専攻［博士後期課程］

ディプロマ・ポリシー(DP)	カリキュラム・ポリシー(CP)
政治経済学研究科では、学部および修士課程で学んだ政治学、経済学に関する基礎的な知識の上に、さらに専門的で高度な知識を学ぶとともに、主体的な研究調査、発表、討論によって、さらに広い視野に立った学識を有する専門的な研究者を育成するための科目を設置している。これらの科目を学び、所定の単位を取得し、一定水準以上の博士論文を提出した者に、博士の学位を授与する。 1．政治経済学研究科政治経済学専攻博士後期課程政治学コースでは、所定の修了要件と以下の要件を満たした者に博士（政治学）の学位を授与する。 政治学に関する高度な専門的知識をもち、高い研究能力と応用力を有して政治学の発展に寄与する専門的な研究者あるいは学識を活かした職業人としての研究能力を身につけていること。 2．政治経済学研究科政治経済学専攻博士後期課程経済学コースでは、所定の修了要件と以下の要件を満たした者に博士（経済学）の学位を授与する。 経済学に関する高度な専門的知識をもち、高い研究能力と応用力を有して経済学の発展に寄与する専門的な研究者あるいは学識を活かした職業人としての研究能力を身につけていること。	政治経済学研究科の教育課程方針は、学位授与方針に沿った成果を上げるために必要なカリキュラムを編成する。 ◆政治経済学専攻［博士後期課程］ 政治経済学研究科では、政治学あるいは経済学の高度な専門知識を有し、世界で生じている政治・経済の問題に対して新たな解決策を提示できる高度な専門能力を育成するために２つのコースを設け、必要なカリキュラムを編成する。 政治学コースでは「政治学演習」を課する。この科目によって、政治システムの現状、問題点、その歴史的および理論的背景を確認させ、研究課題と、自立的な研究方法を身につけさせる。経済学コースでは「経済学演習」を課する。この科目によって、経済システムの分析に必要な経済理論、分析手法および歴史的接近方法を修得させ、自立的な研究活動に導く。 さらに、政治学コースでは「政治経済学特論２」、経済学コースでは「政治経済学特論１」をそれぞれ学修させることによって、政治経済の融合状況を分析するさまざまな手法、理論モデルを理解させる。 また、学生は個々の問題関心に沿って指導教員を中心に、複数の教員の指導を3年間受ける。 以上の学修の上に立って、博士論文を作成し、その成果を学術論文として発表させることにより、高度な知識と能力をもつ研究者と職業人を育成する。